

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から、大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

表されました。

アの中から15のアイデアを選定しました。松江市長、山陰中央新報東京支社長、教育学部長が審査員を務め、「心靈スポットN.O.1島根」、「日本で唯一中学生から働ける町」、「夜景がきれいな県N.O.1」の3点を優秀アイデアに決定しました。選ばれた3点は、電通のクリエイティブチームが視覚化して11月に山陰中央新報紙面で発表されました。



TOPICS 4 地域の未来を明るく感じさせるアイデアを考案

山陰みらい教室プロジェクトを実施

6月23日(木)～9月26日(月)まで、附属義務教育学校8年生の未来創造科の授業で、「山陰みらい教室」プロジェクトに取り組みました。

このプロジェクトは、山陰中央新報140周年記念事業として、「山陰みらいテラス～未来を担う中学生と共に考える10年後、20年後の『島根がN.O.1』～と銘打ち、地域の未来を明るく感じさせるアイデアを、未来を担う中学生と共に考え発信する企画です。授業では各クラス2～3人のグループに分かれて、(株)電通未来事業創研のコンサルタントの方とオンラインでミーティングを行いました。生徒が一人ずつ考えた「地域の未来を明るく感じさせるアイデア」を伝え、島根をあまり知らないコンサルタントの方から意見をもらいながら、各自のアイデアを磨いていきました。9月26日(月)には、生徒が考案したアイデアを磨いていきました。松江市長、山陰中央新報東京支社長、教育学部長が審査員を務め、「心靈スポットN.O.1島根」、「日本で唯一中学生から働ける町」、「夜景がきれいな県N.O.1」の3点を優秀アイデアに決定しました。選ばれた3点は、電通のクリエイティブチームが視覚化して11月に山陰中央新報紙面で発表されました。



※過去開催の様子

TOPICS 6 4年ぶりに対面での開催が復活

「古代出雲文化フォーラムX」申込開始

本学が主催する「古代出雲文化フォーラム」は、古事記編纂1300年を記念して2012年度から始まり、全国各地で回を重ねてきました。10回目となる今回は、2023年3月4日(土)に大阪市での開催を予定しています。テーマは「古代出雲と相撲・埴輪・儀礼」。古代出雲の古墳祭祀、それまつわる相撲や儀礼の歴史について、相撲の開祖とされる野見宿禰の伝承にも触れながら紐解いていきます。詳しくは島根大学HPをご覧ください。



詳細、参加申し込みはこちら
(<https://www.shimane-u.ac.jp/docs/2022103100027/>)からご確認ください。
QRコードからもご覧いただけます。
【お問い合わせ】0852-32-6269



WEBサイトはこちら
(<https://www.staffsearch.shimane-u.ac.jp/kenkyu/sangaku>)からご確認ください。QRコードからもご覧いただけます。

読者の声
Energy Voice

広報しまだい
vol.52に
寄せられた声を
お届けします。

エネルギー変革に対応する
学部の設置に期待しています。

一般人を含めた大学の
研究報告会や講演会などを
年に何回も実施してほしいです。

(島根県松江市・70代男性)

島大発のいろいろなアイデア、
地元民として恩恵に
預かるのが楽しみです。

(島根県津市・50代女性)

しまだい便り

大学の
旬な情報を
お届け

TOPICS 1 山陰ケーブルビジョン株式会社と連携協力に関する協定締結

人材育成と学生の県内定着を目指す



7月27日(水)、山陰ケーブルビジョン株式会社及び国立大学法人島根大学の連携協力に関する協定締結式を行いました。この協定は、山陰ケーブルビジョン株式会社様と本学が緊密な連携のもと、島根県の将来を支えていく意欲を持つ優秀な人材をともに育成するとともに、本学学生の島根県内への定着促進に寄与することを目的としています。具体的には、2022年度創設した「県内定着奨学金」制度について、山陰ケーブルビジョン株式会社様からの寄附金も原資として加え、「県内定着奨学金」を拡充していきます。

こうした形で支援していただき山陰ケーブルビジョン株式会社様の気持ちをしっかりと受け止め、大学の教育に取り組んで参りたいとの発言がありました。服部学長からは「島根県のために、障がい者、高齢者のための取り組みが評価されたもので、中山間地域や離島などで、日常業務から研修医の受け入れまで連絡・相談できる体制を構築しました。

TOPICS 5 本学研究者情報に簡単にアクセスが可能に

島根大学研究紹介データベース開設

島根大学研究者が、企業や行政、学内外の研究者と連携して地域貢献・産業振興・学術交流を促進することを目的としたデータベースです。キーワードや産業分野、研究分野などで検索し、研究内容や特許情報などの概要を知ることができます。研究者探しの入口としてご活用ください。



WEBサイトはこちら
(<https://www.staffsearch.shimane-u.ac.jp/kenkyu/sangaku>)からご確認ください。QRコードからもご覧いただけます。

TOPICS 3 新しい福祉機器のアイデアを提案

大学院生の奥井さんが優秀賞を受賞

福祉機器コンテスト2022において、自然科学研究科理工専攻機械・電気電子工学科の奥井大貴さんが優秀賞を受賞しました。テーマは「究極のインクルーシブゲーム」心拍を活用して、複数の障がい者(者)も遊ぶことができるゲームを開発しました。奥井さんは誰もがもつ心拍に着目し、スマートチップや視線入力の活用が難しい重度重複障がい児(者)も遊ぶことができるゲームを開発しました。



島根大学医学部附属病院総合診療医センターが、公益財団法人日本デザイン振興会による2022年度グッドデザイン賞を受賞しました。これは厚生労働省の「総合的な診療能

TOPICS 2 高齢化先進県の島根で総合診療医を養成するプロジェクト

グッドデザイン賞・金賞に輝く

業」を受けた本学の「総合診療医育成プロジェクト」における取り組みが評価されたもので、中山間地域や離島などで、日常業務から研修医の受け入れまで連絡・相談できる体制を構築しました。

地域との関わりや社会的役割など、一般人が関心を持ちやすい話題もみるとよいと感じました。

(島根県岡谷市・50代女性)